

# 天川村

# 議会だより

## 創刊号

令和5年1月1日発行



## 天川村議会だより 創刊にあたり

**議長 南和広域医療企業団議員(総務委員長)**

好きな言葉「**足るを知る**」

天川村のイメージ「**おもてなし 寛容の村**」

村民の皆様、天川村議会議長の銭谷春樹でございます。

平素は、議会運営並びに議員各位の活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。議会だよりの発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

令和4年3月定例会におきまして、議会改革特別委員会を設置しました。そんな中で議会の取り組みや議員の村内・外での活動を知って頂こうと、天川広報とは別に議会だけの広報誌を発行する運びとなりました。ご一読頂きたく存じます。今後も議会並びに議員各位に頂いた叱咤激励にお応えできるよう頑張っていく所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。



銭谷 春樹 議長

# 天川村議会議員 紹介



今西 勉 副議長

副議長 さくら広域環境衛生組合議員 国保・介護保険運営協議会委員  
子ども子育て推進会議委員

この度の議会広報の発行を期に、より開かれた、より身近に感じてもらえるような議会改革を進めると共に、近年の社会情勢の急激な変化にも敏感かつ柔軟に対応できる議員であるよう一層の研鑽を積んで参ります。



小屋 敏巳 議員

総務委員長 議会改革特別委員会委員長 国保・介護保険運営協議会委員  
天川村地域自立支援協議会委員

新年明けましておめでとうございます。私は議会の中で総務委員長、議会改革特別委員長を務めています。総務委員会は主に村政の条例を協議しています。特別委員会は村民の皆様理解していただける開かれた議会を目指しています。今後とも皆様の幸せと村の発展の為に頑張って参ります。宜しくお願いします。



水口 大介 議員

予算決算審査委員長 天川村社会福祉協議会委員  
天川村地域自立支援協議会委員

一期三年目となりました 水口大介 でございます。天川村の沢山の課題に取り組みながら経験を積み重ね、豊かな自然、歴史ある天川村を次の世代に残していけるように努力し、責任を持って引き継ぐ担い手として努めて参ります。



今西 行雄 議員

議会運営委員長 災害復旧推進特別委員会委員長 さくら広域環境衛生組合議員 国保・介護保険運営協議会委員 天川村社会福祉協議会委員

明けましておめでとうございます。天川村を元気ある住みよい村に!! 増える空屋の対策、観光の新たな開発等々を行政に反映できるよう取り組んで参ります。皆様の御指導・御協力をお願いいたします。



玉井 賢司 議員

経済厚生委員長 奈良県広域消防組合議会議員  
天川村人権教育推進協議会委員 子ども子育て推進会議委員

皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。天川には観光立村として力強い宝がまだまだ眠っています。その資源を掘り起こして新しい天川村の魅力を県内外に広めていきたいと思っております。皆様にとって希望に満ちた年になりまうように。



堀井 義信 議員

ダム・堆積土砂対策特別委員会委員長 監査委員 南和広域衛生組合議員  
天川村人権教育推進協議会委員

=== 初 志 貫 徹 ===

ふるさと天川村の ”再生と飛躍” を目指す、主要地方道高野天川線(県道 53 号線)の道路整備の促進、基幹産業である林業の再生・観光資源を活かす取り組み、人口減少・少子高齢化対策

# 令和4年12月定例会

会期：令和4年12月9日～14日（6日間）

## 専決処分の承認

一部改正	天川村議会議員の議員報酬等に関する条例
一部改正	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例
一部改正	一般職の職員の給与に関する条例
予算	令和4年度天川村一般会計補正予算(第4号)

国の法律改正に伴い、職員の給料表の改定及び職員・議会議員等の勤勉(期末)手当の支給率の引き上げを行うものです

## 議決案件（条例）

一部改正	天川村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例
一部改正	職員の定年等に関する条例
一部改正	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例
一部改正	職員の懲戒の手續及び効果に関する条例
一部改正	職員の勤務時間、休暇に関する条例
一部改正	職員の育児休業等に関する条例
一部改正	一般職の職員の給与に関する条例
一部改正	技能労務職員の給与に関する条例
廃止	職員の再任用に関する条例
一部改正	天川村子ども医療費助成条例
一部改正	天川村ひとり親家庭等医療費助成条例

国の法律改正に伴い、職員の定年について段階的に65歳に引き上げるものです

福祉医療のうち子ども医療費助成の対象年齢を18歳に引き上げるものです

## 議決案件（計画）

策定	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
----	--------------------------

財政上有利な辺地債を活用できる地域に山西地区を加えるものです  
(和田・庵住・籠山・山西辺地)

## 議決案件（予算）

予算	令和4年度天川村一般会計補正予算(第5号)
予算	令和4年度天川村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)
予算	令和4年度天川村国民健康保険直診勘定特別会計補正予算(第2号)
予算	令和4年度天川村下水道事業特別会計補正予算(第1号)
予算	令和4年度天川村介護保険特別会計補正予算(第1号)
予算	令和4年度天川村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

## 人事案件

同意	天川村教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
----	-------------------------------



3番 今西 勉 議員



## 行政のデジタル化について

今後ますます進むデジタル化について、お伺いをします。

地方行政においてもデジタル化が進む中で、マイナンバーカードの申請率が当初非常に悪かったのは、高齢化率が50%を超える天川村において、デジタル化について行けない、又、ついて行かない高齢者の方がおられるからではないでしょうか。

天川村におけるマイナンバー申請率については、その後、出張窓口や休日受付といった住民課の職員の皆さんの大変な努力により、80%を超える申請率に至ったということです。今朝、伺ったところでは、11月期の申請率は全国2位という大変ご苦勞をいただき有難うございました。



一方で、申請し交付されたマイナンバーカードのポイントの付け方が分からないなどという方が多くおられまして、私もその一人でございましたが、今後もデジタル化が進むにつれて、こうしたデジタル難民

と言われるような人たちが無いよう、誰にでも分かりやすく優しいデジタル行政が問われる事になるのではないかと思います。今後の取り組み等について、村長にお伺いをいたします。

### 車谷村長の答弁

3番、今西議員さんの質問にお答えいたします。

まず、デジタルトランスフォーメーション戦略で、現在村民に一番近くにあるのはマイナンバーカードであります。このマイナンバーカードの普及のため、国はポイント付与の恩恵を付加しました。これは単なる消費拡大だけではなく、長引く低金利への対応、海外から後れを取っているキャッシュレス化への加速等の意図があったと推測します。

本村では、本定例会に上程いたしました専決補正予算による、天川村物価高騰等対策特別給付金の給付にあわせて、11月はマイナンバーカードの普及に力を注ぎました。10月末では累計735件(56.45%)の申請率で県下37位、全国1,741市町村中1,310位でしたが、11月中に285件の申請を受付け、累計1,020件(78.34%)



の申請率となり県下4位、全国でも77位まで伸ばすことができ、現在も窓口では申請・交付事務並びにマイナポイント付与を行っています。

ご質問の高齢者や目や耳に障害のある方への対応は、デジタル行政の便利さを理解していただくための説明を含め、窓口では住民目線による丁寧な、不安感を抱かせない対応を指示しているところであり、視覚障害者には分かりやすい言葉で、聴覚障害者にはパンフレット、画像、動画による説明が不可欠であります。



だれ一人取り残されることのないデジタル行政では、診療所、歯科診療所の受付にはマイナンバーカードによる保険証確認の準備も進んでいると報告がありました。また、現在の行政からの連絡手段の充実では、行政無線放送の内容を自治体放送内で再放送を、自治体放送では動画放送の充実により、内容の読み上げ等視覚・聴覚障害者への配慮を行う必要があると感じております。

窓口業務については、説明する担当者入替によるワンストップ化を図ってきましたが、マイナンバーカードの利用による「書かない窓口」、漏れのない本当のワンストップ化が実現できるよう、DX交付金等を積極的に活用したいと考えております。小規模自治体であるが故に、費用対効果をみると決して低コストで実現できるものではないと考えておりますが、次世代を担う世代が、社会に出たとき遅れの無いよう、デジタルデバイスの活用や教育も必要と感じております。

国のDXに対する対応は刻一刻と変わってきておりますが、この波に乗り遅れないよう、村一丸となって取り組んでいきますので、ご協力の程賜りますようお願い申し上げます。私の回答とさせていただきます。

## 今西 勉 議員

デジタル化が返って高齢化率の高い自治体においては、業務量等が増えることになるかもしれませんが、今後も一層の努力をお願い致します。

特に一人暮らしのお年寄りが自宅でより楽しく、より長く、より住みやすい環境を作っていくことは、しいては介護保険料の軽減にも繋がっていくのではないかと思います。また、他にも今おしゃってくれましたが、耳や目に障害を持っておられる方たちにも、工夫を凝らした対応をお願いしたいと思います。耳の不自由な方に行政無線放送は聞こえません。また、目の不自由な方には、デジタル放送を見ることは出来ません。ますます進むデジタル化の中で、誰一人取り残されることのない、誰にも優しい、デジタル行政を進めるためにも、新年度予算にもしっかりと盛り込んで頂きたいと思っております。どうかよろしくようお願い致します。私の質問を終わります。



5番 今西行雄 議員



## 旧天川中学校の跡地利用



旧天川中学校校舎が使用されなくなりまして、数年が経ちます。周辺には天河神社、天の川温泉、キャンプ場などがあり観光客も増えてきています。校舎は、耐震工事が出来ていますし、運動場も嵩上げされて水害の心配も少なくなっております。今現在は、坪内地内の治山工事の資材置き場として使用されていますが、工事終了後の旧校舎、体育館、運動場等の跡地活用をどのように考えておられるのかを村長にお聞きしたいと思います。よろしくお願い致します。

### 車谷村長の答弁

旧天川中学校は、平成30年度に中学校合併後において、義務教育学校に移行し、現在も施設管理台帳では、天川小中学校施設として教育委員会事務局での管理を行っております。

旧天川中学校の跡地利用についてですが、平成28年度に国庫補助金をいただきトイレ水洗化工事を実施しており、補助金及び地方債の償還期間が令和10年度までとなっております。施設の財産処分について国の公立学校施設整備費国庫補助金等に係る財産処分手続の概要では、有償及び無償で施設を貸与・譲渡・転用等を行う場合には大臣の承認や報告が必要となり、処分する内容によっては、残りの国庫金の返還が発生致します。

また、国の承認手続きが不要な場合としては、処分制限期間を経過した場合若しくは、内閣総理大臣による地域再生計画の認定を受けた場合となっております。すなわち令和10年の地方債の償還期間までは、転用等の条件が厳しい制約を受けることから現状のまま今現在は残していかなざるをえないという状況になっております。ただ、それまで何にもしない訳ではなく、現在校舎の耐震対策やトイレ改修なども済んでいる校舎であり、酒造メーカーなどからの申出や、最近では、天川村内にある会の代表者にお声かけをし、建築家の施設見学も御座いました。また、本村の委託先であります元県庁職員で現在林政アドバイザーにもお声かけをしたところ、芸能の神様のお膝元だということで芸能学校の関係者の施設見学も御座いました。校舎だけに小分けして利用するのか、そのまま利用するのかによってもかなり用途が変わってまいります。

当然跡地利用に対しましては、旧洞川中学校も同じく地域性も考慮した上で、最も効果が発現できる方法を模索していきたいと考えておるところで御座います。実際、今申しましたように、今のところはその途中であると言うことで、これからいろいろな方面を模索しながらやって行きたいなということでございます。議員の皆様方におか



れましても、どのような有効利用ができるか、お知恵も拝借しながら今後の学校跡地利用について、議論を深めて参って行きたいなと思っています。



## 今西行雄 議員

令和10年度までまだ有償ということで、国庫金の返金をしていかなければならないということなんですが、いろいろ制約や縛りがあるとは思いますが、費用対効果も考えた上で何とか有効に使って頂きたいと思います。地域振興の起爆剤になる

ような素晴らしい土地が手つかずのまま残っているのが、私としては非常にもったいないと思っています。様々な条件があえば、場合によっては一括で返金してでもやってもらえたら、という希望も私は持っています。2025年には関西万博が開催されて、天川村にも多数の観光客が来村されると思います。そのためにも天中跡地を整備して有効に活用して頂きたいと、そのように考えております。厳しい制約があるようですが、これから何とか考えて頂きますことをお願いしまして私の一般質問を終わらせて頂きます。

## 車谷村長

今西議員さんの要望、要請を受けながらですね、放置している訳ではないのですが、先ほど述べたように様々な要素があり現状は放置せざる得ない状況であります。全国的に見て学校跡地というのは、あちこちで廃校になったり、休校になったりということで点在している訳なんですが、その後の使い道と言うのは大変苦慮されています。事例としましてもいろいろありますが、レストランとか、或いは地元の産物を扱った施設に転用するとか、地域の集いの場所にするとかといったこともございますけども、今のところ我々として、そういったことの話も時々は出てくる訳なんですけども、イベント的な短期に使いたいとか、或いはシーズン使いたいとかいう話になってくる訳でございます。そのための改修費用というのは先ほどの制約のなかで費用対効果をもみても難しい面がございます、その点も併せながら、また、時期を見ながら、これから皆さんと共に協議をして参りたいと思っています。そして坪内の地滑り対策がある程度目途がつき、業者が撤退した後にしましては、あの広大なグラウンド、その活用も視野に入れなければいけないということになるかと思えます。お蔭を持ちまして、すぐ側には天河大辨財天社という有名な神社がございます。駐車場の乗り入れも出来る、活用もできるであろうし、また、スポーツイベントも出来るだろうし、ということでございます。坪内地区の地滑り事業も併せながら、地域一帯が落ち着くまでの間の管理をしっかり行いつつ、今後の天川中学校、洞川中学校の跡地利用について、皆さんと共に議論を深めて参りたいと思っています。

## 関連質問 今西 勉 議員

今、村長のお話にもありましたけども、地方債が残っているということで、まだ致し方ない状況かと思いますが、村長がおしゃってくれました駐車場等の活用はできないかということなんですが、最近、先々月位に、材木を出すのに集積場として使っておりまして、その時10トントラックが天の川温泉側から入ったと。詳しく聞いてみますと「道はどうなん、入れるん」と聞いたら「どんどんに入れますよ」と。「バスはどうか」「バスも入れますよ」と言うような話でしたので、天河大辨財天社が最近お参りも多くて、観光バスも見えておるようですので、そのような利用もできないかと思えます。ひとつ、産業建設課の方でも道路の点検をして頂きまして、温泉側から観光バスがグラウンドに入れられないかということも考えていけないかと思えます。どうかよろしく申し上げます。



2番 水口大介 議員



## 各区へのコミュニティ助成金



各区へのコミュニティ助成金について村長にお尋ねします。

平成22年度より始めました各区へのコミュニティ助成金が今年度をもちまして終了しますが、来年度以降の助成金の継続も含めどのようにお考えかお聞かせください。

### 車谷村長の答弁

ご質問のあったコミュニティ振興助成金につきましては、各区の自治・コミュニティ活動を円滑に行い、住みよい村づくりを推進することを目的として、平成22年度に助成金の原資3,000万円の基金積み立てを行い、その後、毎年度、均等割、世帯割りを軸に、高齢者の多い地区や簡易水道未普及地区には加配を行う配分方式にて、令和元年度までの10年間、各区に毎年300万円助成してまいりました。さらに10年目を迎えた折に区長連合会からの延長の要望を受け、3年間延長をさせていただき、今年度が助成の最終年度となっておりますのでございます。

当該助成金の交付期間の再延長に関しましては、令和4年10月25日に区長連合会からも要望を受けており、各区の助成金に対する必要性・重要性の高さは承知しておりますのでございます。

本来、村といたしましては、当該助成金は水道や集会所の修理などの経常的な経費に充てるのではなく、人口が極めて減少している中で人と人とのつながりを重視し、親睦や行事ごとなど何か新しいことに取り組んでいくための助成金として捉えていただき、従前の助成金よりさらに有意義な使い方をしていただきたいと望むところもでございます。

村及び区を取り巻く環境は、このコミュニティ助成金が始まった平成22年度と比べましても、ますます過疎・高齢化が進んでおり、区費による区の運営が困難であると認識しております。先ほど申し上げた助成金





の使い道も含めたコミュニティ助成金の在り方や村の財政的な事情などを考慮しつつ、令和5年度におきましては前年並みの交付を考えておりますが、以降は将来にわたって持続できる方法や助成のあり方を協議し新たな振興助成に向け考えていきたいと思っております。



## 水口大介 議員

分かりました。村財政も大変厳しい状況ではありますが、ご答弁のとおり継続して頂けるとの事で安心しておるところでございます。

また、ここ数年でいえば人口減少、コロナウィルス等、各区においても人と人とのコミュニケーションが取れない状況が続いておりますが、国もコロナウィルスを2類から5類に引き下げを検討しているところでもあり、このような助成金によって、各区、そして天川村全体が活性化され、賑わいを取り戻すことを願ひまして、私の一般質問とさせていただきます。

## 車谷村長

この助成金におきましては、助成金ありきで区の親睦が図れないとか、区の行事が出来ないとかいう根底の問題でもなくて、それを一つの行事として、この高齢化社会、或いは人口減少の中において、如何に持って地域の和を持って行く、皆さんのコミュニティをもっと図っていく、親睦を図っていくというような使い道の助成金になっていただければ本当に有難いなと思っております。他のハード面におきましては、やはり違う補助金を使うこともできますし、今後は、まだまだそういったことが起きてくると思っておりますけれども、現在のコミュニティ助成金では1つの小さな区であると助成金も何万円、10万円程度というところもあると思っております。しかしながら、3つ4つの区で助成金を大きく集めて使うといった、集合してコミュニティ資金を使うというのも1つの手ではないかなと思っております。コミュニティ資金の使い道を、皆さんでもう少し幅広く考えてもいいんじゃないかなと、そういう時代に突入しているのではないかなと思っておりますので、今後ともその辺の理解を深めていきたいかなと思っております。よろしくお願ひします。

## 一般質問とは？

一般質問とは、議員が行政全般にわたり、村長や執行機関に対して事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、報告、説明を求めたりすることをいいます。



7番 堀井義信 議員



## 来春の天川村長選挙について



来春予定の天川村長選についてお伺いいたします。村長は、3 期目において数々の公約を示され、事業化されました。地方創生は天川からと村づくりを公正に議会と協働しながら進めてこられました。まだ道半ばの事業も多々あります。また、天川村長期基本計画を作成され、新たな実施計画を進められていますが4期目に向け立候補の決意について村長にお伺いいたします。

### 車谷村長の答弁

平成 31 年 4 月に多くの皆様のご支持を受け、3期目の再選をさせていただいてから、早いもので3年8か月が経過いたしました。就任に際し、皆様にお約束した農林水産、観光を始め、教育や福祉とくらし、安心安全といった多様なニーズにも応えながら各々の分野で村政発展に向けた取り組みを行って参りました。

特に、整備の遅れております国道・県道の改良につきましては、要望活動等を精力的に進めて来たところ。中でも、県道高野天川線につきましては、各所に狭隘箇所があり、生活道、観光道両面から速やかな改良整備が望まれており現在各地区の改良工事が実施されております。同様に国道 309 号大峰公園線においても狭隘箇所の用地交渉も順調に進み、工事着手が待たれる所です。地方道及び県管理の国道の中では異例と言われる程の個所付けを頂いているところです。ですが、まだまだ未改良区間に於いても今後も引き続き整備促進に向け邁進していきたく思っております。

次に、前期で立ち上げました、林業振興に向けた木質バイオマス事業では、未利用木材の活用からスタートしましたが、その後未来基金より多くの助成を受け「キハダの森プロジェクト」を立ち上げ、伐採後の山林に広葉樹や陀羅尼助原料のキハダなどの植樹を行い今までは違う造林事業に取り組みました。また、都市で活躍する企業や理解者の方々とは協定して総面積 28 ヘクタールに及ぶ植樹や育林などの実務体験と雇用促進に向けて発進しているところです。

また、新規特産品開発に向けた洞川夏イチゴ生産事業、名水を活用したトラフグ養殖事業では、総務省の地方創生事業や地域おこし協力隊派遣事業などを積極的に活用し、協力隊員に専門的な知識の蓄積を図らせ、生産から出荷にこぎつけることができました。今後は運営方法をいかに民間経営とするかそして、特産品として定着できるかが課題と考えているところです。

この他、暮らしについてですが、定住促進事業としま



して南日裏、坪内地区に続いて洞川地区にハイツ型の定住促進住宅を建設いたしました。加えて、高齢者の在宅介護を応援する施設として昨年、小規模多機能型居宅介護施設「もみじの里」をオープンすることができました。現在、15名の利用者の方々のディサービスや訪問介護、宿泊介護など様々なニーズに対応したサービスを展開しており今後も運営を検証しつつ安心して預けられる施設づくりを目指していきたいと思っております。



教育の分野では、懸案でありました中学校統合を行い、現在は更に踏み込んだ小中一貫義務教育学校として大変良好な教育環境を提供することが出来ました。また、ICT教育への対応として、生徒一人に一台のタブレットを配備し、リモート教育の充実を図ってまいりました。

そして、観光促進としましては、各種イベントをはじめ活性化策を展開してきました。おかげさまで、その効果は県内外より注目を集めております。シーズンになれば交通渋滞緩和のための駐車場と洞川温泉ビジターセンターの建設計画もスタートさせて頂きました。天川観光のひとつの拠点整備が出来ますことは、村内観光の大きな励みになると思います。県内有数の御手洗溪谷の遊歩道整備も視野に入れており、中央地区、西部地区の拠点整備も将来の天川村の観光需要に応えるべく進めて行きたいと思っております。

思います、今後の村づくりについては、今期・前期の8年で立ち上げました各種事業の更なる発展的充実を図りながら、常に本村の潜在能力を掘り起こし効果的な活性化策を展開して行きます。農林水産、観光、教育、福祉とくらし、安心安全などすべての分野が等しく重要であると思っております。各施策の持つ時間的行程を明確にしていき国・県の補助金を最大限活用させて頂きながら、期待される効果をより一層高めていきたいと思っております。行政は終わることのない機関です。天川村の長い歴史から見ればごく一瞬ですがこの瞬間を大事にして行きたいと思っております。皆様のご理解をいただきまして、4期目再選に向け挑戦していく所存でございます。どうかよろしくお願いいたします。

## 堀井義信 議員

ただいま4期目に向けて立候補の意思表示を受けましたが、観光と農林水産業の独自産業化の地域の気候特性を活かした特産品、洞川夏イチゴの栽培、また旧天川小学校を活用したトラフグの陸上養殖等まだ道半ばの事業が多々あると思います。また、観光のワンストップサービス施設の洞川温泉ビジターセンターの建設計画等の事業をスピード感を持って進めていただきたいと思います。そして、奈良県初の義務教育学校、天川小中学校が開校されました。先ほど、今西行雄議員の質問にもありましたが、旧天川中学校は耐震補強工事が完了している施設であります。跡地等も含め、有効活用を早急に検討していただきたいと思います。また、坪内地内の災害復旧工事2箇所は、国直轄工事で着々と進んでおります。地滑り工事も平行して進んでいるのが現状だと思います。これからの観光防災施策を進めていく上におきましても、特に東西に走る主要道路県道高野天川線が災害に強い村づくりには、欠かせない道路であると思います。改良整備が進んでおりますが、災害復旧同様に早期に工事完了に向けて努力していただきたいと思います。最後に、人口減少、少子高齢化に直面している本村の将来を、計画的、効率的な行政運営をお願いすると共に、私たち議会も一丸となって協議、協力させていただくことを申し上げまして、私の質問を終わらせていただきます。

# 議員活動

## 議員研修

### 天川村議会議員研修会

高市早苗 衆議院議員による講演会

全議員

10月29日、奈良市の奈良ロイヤルホテルにて、経済安全保障担当大臣 高市早苗氏による講演会が開催され、議会議員研修として参加しました。「経済安全保障について」と題した講演では、日本が抱える安全保障の課題や国防などについて国の立場からのお話を聞かせていただきました。

### 天川村議会議員研修会

松川るい 参議院議員による講演会

全議員

11月26日、奈良市の奈良コンベンションセンターにて、松川るい氏による講演会が開催され、議会議員研修として参加しました。自民党の女性局長を務められている松川氏は「今こそ憲法改正を！」というテーマで、改憲に向けた議論の状況について語っていただきました。



### 吉野郡町村議会議長会 全議員研修

全議員

11月14日、大淀町あらかしホールにて、吉野郡町村議会議長会が主催する全議員を対象とした研修会が実施され、議員全員で参加しました。研修会は、経済ジャーナリストの須田慎一郎氏を講師に招き「日本経済の本当の姿」と題したお話を聞かせていただきました。



### 吉野郡町村議会議長会視察

天川村とらふぐ試験養殖施設等の視察

銭谷議長

12月17日、吉野郡町村議会議長会による天川村トラフグ試験養殖施設及びバイオマス生産施設の視察研修が行われ、郡内の町村議長が来村されました。視察では、旧天之川小学校校舎に整備されたトラフグ試験養殖施設や隣接するバイオマス生産工場を視察していただきました。



### 高等学校総合寄宿舍「畝傍寮」の視察

全議員

「畝傍寮」は本村などから高等学校へ通う生徒が利用する男子寮ですが、築後40年以上が経過しており空調設備やボイラーなどの故障が頻発しているようです。入寮生の生活環境を良くするため、本村教育委員会を通じ県に要望を行うとともに、12月9日に現地視察を行う予定でしたが、コロナウイルス感染症の再拡大により延期となりました。

# 議員活動 一部事務組合

## 南和広域衛生組合議会 令和3年度 決算監査

堀井議員

9月17日大淀町にて、令和3年度南和広域衛生組合決算監査が行われ、監査役を務める堀井議員が出席しました。監査では、令和3年度の収入・支出や根拠書類が適切に保管されているかなどについての確認を行いました。

## 南和広域衛生組合 第2回定例会

堀井議員

11月7日大淀町にて南和広域衛生組合 第2回定例会が開催され、堀井議員が出席しました。

定例会では、令和3年度決算の認定のほか、一般職の職員の給与及び育児休業等に関する条例の専決処分の承認がなされました。

## 南和広域医療企業団議会

銭谷議長

10月28日、南奈良総合医療センターにて、南和広域医療企業団議会が開催され、銭谷議長が出席しました。

議会では、病院の経営状況や今年度の事業の進捗状況、補正予算の概要についての説明がありました。



## 奈良県広域消防組合議会

玉井議員

11月28日、橿原市にて、奈良県広域消防組合議会第2回定例会が開催され、玉井議員が出席しました。議会では、構成市町村の分担金条例や消防職員の退職年齢にかかる条例などについて議決されました。



## さくら広域環境衛生組合議会

今西勉副議長・今西行雄議員

10月11日、大淀町役場にて、さくら広域環境衛生組合議会第2回定例会が開催され、本村議会から今西勉副議長と今西行雄議員が出席しました。

議会では、組合議会副議長の選挙のほか、令和3年度さくら広域環境衛生組合一般会計決算の認定等がなされました。



## 一部事務組合とは？

一部事務組合とは、地方自治法に基づき複数の市町村が行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する行政機関のことをいいます。

## 天川村が加入している一部事務組合

- 奈良県広域消防組合
- 南和広域衛生組合
- さくら広域環境衛生組合
- 南和広域医療企業団(公営企業)
- 奈良県総合事務組合 など

## 議員活動

# 行政委員会・村内行事など

### 月例出納監査

堀井議員

9月20日、10月20日、11月21日、12月20日の各日、天川村役場会議室にて月例監査が行われました。各支出が適切であるか、添付書類の根拠は正確かといった点に着眼を置き監査が行われました。



### 天川村社会福祉大会

銭谷議長

9月14日、天川村山村開発センターにて、天川村社会福祉大会が3年ぶりに開催されました。

来賓として銭谷議長が招待いただき、祝辞を述べさせていただきました。



### 第2回 奈良県地域フォーラム

全議員

10月9日、天川村山村開発センターにて、奈良県地域フォーラムが開催されました。荒井知事をはじめ、車谷村長や近隣の市町村長らが参加し「まちづくり」について壇上で意見交換が行われました。



### 天川村交通対策協議会

銭谷議長・今西勉副議長・小屋議員・堀井議員

9月16日、天川村山村開発センターにて、天川村交通対策協議会が開催され、議会を代表して銭谷春樹議長ほか各議員が出席しました。

秋の交通安全運動週間における各種啓発事業や、トンネル内の照明器具の安全性などについて活発な意見交換と協議が行われました。



### 幼小中合同運動会

銭谷議長

9月24日、天川小中学校運動場にて、天川村幼小中合同運動会が開催されました。

天川村議会からは銭谷議長が来賓として招待いただき、台風一過の晴天のなか盛大に行われた運動会を見学させていただきました。



### 令和4年度 一般会計補正予算説明会

全議員

10月17日、天川村役場議員控室にて、補正予算説明会が行われ、全議員が出席しました。会議では、村長から国から交付される新型コロナウイルス関連交付金を財源とした補正予算案について説明を受けました。



# 議員活動 村内行事など

## 天川村区長連合会

銭谷議長・今西勉副議長

12月19日、天川村区長連合会が開催され 銭谷議長、今西勉副議長が出席しました。会議冒頭の議長挨拶では、日頃の各区長のご尽力に対し感謝を申し上げます。

(今西勉副議長は山西区長として出席されました)



## 令和4年度 近畿地方治水大会

銭谷議長

10月18日、福井市にて、令和4年度近畿地方治水大会が開催され、招待を受けた銭谷議長が出席しました。大会には、福井県知事をはじめ国会議員、市町村長、土木関係者が参加し、流域一帯となった治水対策の推進などを決議しました。



## 全国人権同和教育研究大会

堀井議員

11月27日、奈良県社会福祉総合センター他県内会場にて第73全国人権同和教育研究大会が開催され、堀井議員が出席しました。

大会では「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」というテーマのもと、全国から集まった方々との交流や事例発表などが行われました。

## 天川村地域自立支援協議会 「きずなサロン」

小屋議員・水口議員

障害をお持ちの方同士の交流促進を図ることを目的に定期的に「きずなサロン」を開催しています。



12月16日に、天川村山村開発センターで「寄せ植え教室」を実施し、小屋議員、水口議員が参加しました。

## 町村議会議長 全国大会

銭谷議長

11月9日、東京都のNHKホールにて、令和4年度町村議会議長全国大会が行われ、銭谷議長が出席しました。

大会には全国の町村議長が集い、地方から国に対する予算要望や新型コロナウイルス対策及び経済対策などにかかる決議がなされました。



## 12月13日 総務・経済厚生委員会



次回の議会定例会は3月上旬に開催される予定であり、本会議、委員会(総務・経済厚生・予算決算審査委員会)は傍聴することができます。  
詳しい日程につきましては、無線放送などでお知らせいたします。事前申込みは不要です。

次回の議会だよりは、令和5年4月1日の発行予定です。  
議会だよりに対するご意見・ご感想・ご要望がございましたら、議会事務局までご連絡いただければ幸いです。

発行:天川村議会 編集:天川村議会事務局  
〒638-0392 吉野郡天川村大字沢谷 60 番地  
電話:0747-63-0321 FAX:074-63-0329  
メール:gikai@vill.tenkawa.lg.jp